

島根大学学位授与式（松江） 式辞

本日、島根県知事・丸山達也様をご来賓に迎え、学部卒業生979名ならびに大学院修了生208名の皆様に学位を授与し、門出をお祝いできますことは、島根大学として大きな喜びとするところです。卒業生、修了生の皆様、おめでとうございます。

また、この日まで皆さんの成長を大きな期待を持って、支え見守って来られましたご家族や関係者の皆様方に対しまして、本学教職員、在学生を代表して心よりお祝い申し上げます。

本来であれば、多数のご来賓やご家族、関係者の方々にご臨席賜り、皆さんの晴れの門出をお祝いするところですが、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、来賓や保護者等のご臨席については制限させて頂いた上で、式次第も短縮した学位授与式となりました。何より、学位授与式を晴れがましく楽しみにされていましてご家族、関係者の皆様方のお気持ちを察するに言葉がありません。今般の事情をご勘案頂き、今回の措置についてご理解賜れば幸いです。

皆さんにとりまして学びの総決算であったこの二年間は、感染症の感染拡大により、全てが想定外の事態となりました。キャンパスへの立ち入りや課外活動等が制限され、また、多くの授業が遠隔で実施されるなど、ご不便やご迷惑をおかけしましたことを残念に思っています。そして、卒業研究や就職活動、友人や教員とのコミュニケーションがままならない中で、不安が募ることもあったかと思えます。人生は不断の努力により自ら切り拓いていくものです。しかし、個人の努力ではどうしてもない環境の変化も起こり得ます。環境の変化により、これまで当たり前のようにできていたこと、また、したいことや考えていたことができないことが生じ得ます。大切なことは、どのような状況、環境においても、そのなかで最善を尽くすことです。今回の感染拡大はその一例ですが、想定外の環境の中で、前向きに努力を重ね、最善を尽くし、ご卒業・修了されるに至りました皆様に遅しく、そして、誇りに思っています。

皆さんは、それぞれの夢や目的をもって島根大学に入学され、学部における専門分野を修めると共に、コロナ禍で活動が制限されている中においても様々に工夫し、特別副専攻プログラム、インターンシップや海外留学・研修等多様なプログラムによる幅広い学びをなされ、また、サークル・課外活動やボランティア等主体的な活動もされました。学びや活動の過程においては、楽しいことばかりではなかったかと思えます。粘り強く努力と精進を積み重ね、多くの苦勞・困難を乗り越え、本日、卒業、修了の日を迎えられましたことを喜ばしく思います。また、皆さんは、友人やご家族や関係者、地域や企

業の方々、そして、学内の教職員等多くの方々に支えられてきました。昨年度からのコロナ禍においては、同窓生や保護者、退職された教職員はもとより、地域の一般の方々など、本当に多くの方々のご厚意による貴重なご支援も頂戴しました。皆さんには、ご支援頂きました方々への感謝の気持ちを忘れずに、新たな道を歩まれることを願っています。

さて、この度のコロナ禍により、デジタル化による社会変革は、一層進展していきます。都会への一極集中から地方分散への意識、DXによる働き方や生活様式の変化等、私たちの意識や日常が大きく変わろうとしています。近未来である Society 5.0 と言われる高度情報化社会で活躍するためには、膨大なデータから適切な情報を引き出し、それを基に物事を的確に判断・決断していく能力と資質が求められます。そのためには、一定の情報・IT スキルと、思考の基盤となる自己の確立が重要です。確固たる思考の基盤により、自らの判断基準が確立され、自ら判断し、主体的に行動することができます。思考の基盤は、多様で幅広く、かつ深い知識と経験により得られる総合知です。これから皆さんはそれぞれの道を行かれますが、島根大学で主体的に学んで修得した知識、技能、そして多様な経験を基盤に、更なる「知」を獲得しながら思考の基盤を大きく成長させ、未来社会でご活躍されることを期待しています。

さて、国連が提唱した SDGs（持続可能な開発目標）の目標期限である 2030 年まで残り数年となりました。また、世界は脱炭素化社会を構築するために本格的に動き出し、我が国では 2050 年カーボンニュートラル宣言を、そして島根県も「2050 年温室効果ガス排出実質ゼロ」宣言をしました。皆さんは、2030 年には社会の中堅を担い、2050 年には国の内外において社会を牽引している年代となります。本学における多彩な教育プログラムを積極的に活用して磨かれた自己を基盤に、より良い社会の構築、持続可能な社会の実現に寄与されることを期待しています。

島根大学は、島根県における文化と知の創造の中核として、人材養成、医療、研究を基盤とした産学官連携事業等を通じて地域へ貢献することを重要な使命としています。皆さんも在学中には県内各地を訪れ、企業・自治体等の方々と共に、地域が抱える課題とその解決を共に考えるなど、地域の方々と想いを共有されたことと思います。これらの貴重な経験を基盤に、皆さんには島根県内を初め、国内、海外各地で、その地域に密着して澁漈とご活躍されることを願っています。

皆さんは、これからそれぞれの道を行っていきます。県内に活躍の場を求めた方には、身近にある母校として、いつでもお立ち寄りください。また、県外に活躍の場を求められた方には島根県、島根大学に関心を持ち続け、様々な形で関わって頂ければ幸いです。島根大学は皆さんとの「縁」と「絆」を、各学部同窓会と共に、末永く大切にしていまいます。また、社会でご活躍される中で、新たな知見を求めることもあるかと

思います。その時には、本学のリカレント教育を活用下さい。あらゆる場面で皆さんを支援してまいります。

本日の学位授与と卒業、修了される皆さんの新たな門出と輝かしい前途を祝し、皆さんのこれからの活躍を心から祈念すると共に、これまで皆さんの成長を大きな期待を持って支え見守って下さったご家族、関係者の方々へ改めてお祝い申し上げ、令和3年度学位授与式の式辞と致します。

令和4年3月18日

国立大学法人島根大学

学長 服部 泰直